

Mis días en México

CEPE では最終学期が始まり、今学期は文法事項の総復習を中心に取り組んでいます。これまで学んできた内容の中から、苦手な部分を少しずつ克服していきたいです。

1. こどもの日

5月4日に日墨会館で「こどもの日」のイベントが開催されました。このイベントは、春祭りや秋祭りのように一般のお客さん向けの出店ではなく、参加者は各県人会の関係者のみでした。当日は、各県人会の代表者による「仙台すずめ踊り」の披露のほか、県人会対抗の綱引き大会や、子ども向けのパン食い競争、ラジオ体操など、さまざまな催しが行われました。

私は子どもたちが遊ぶ道具の準備を手伝ったり、綱引きに参加したりして、とても楽しい時間を過ごしました。ちなみに綱引きでは、去年は広島県人会が優勝したそうですが、今年は残念ながら初戦で敗退してしまいました。

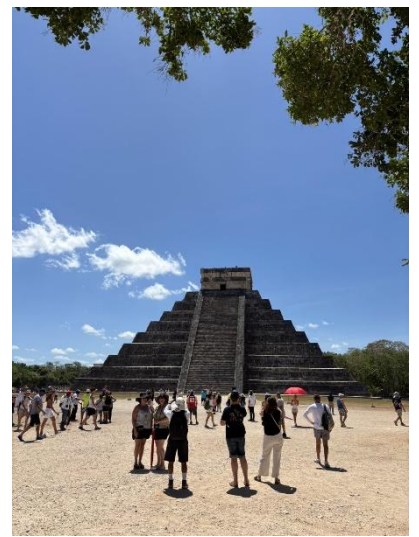


2. 2度目のカンクン・メリダ旅行

学期末の休暇に、2度目のカンクン旅行に行きました。今回は初めて現地のツアーに申し込み、前回の旅では訪れなかった名所を中心に観光しました。

最初に訪れたのは、ユカタン半島を代表するマヤ文明の遺跡、チェチェン・イツァです。特に印象に残ったのは、ククルカンのピラミッドとその不思議な音響効果でした。このピラミッドの前で手をたたくと、反響音がまるで鳥の鳴き声のように聞こえるよう設計されているそうです。これは、マヤの人々が神聖な鳥として崇拝していた「ケツァール」の鳴き声を再現しているとも言われています。実際に手をたたいてみると、本当に鳥のような音が返ってきて、とても不思議な体験でした。また、球技場や生贄の儀式が行われたとされる場所も見学し、古代マヤの文化や宗教観に触れることができました。

このツアーでは、ほかにもグランセノーテ、イキルセノーテ、ピンクレイクを訪れました。ピンクレイクは時期や天候によってはあまりピンクに見えないこともあるそうですが、私が訪れたときはとても鮮やかな色で、感動しました。さらに、現地ツアーでは海底博物館を訪れたり、サメに触れたり、カンクンならではの貴重な体験もできました。



3. メキシコの映画館

5 月には 2 つの映画館に行って映画を観たので、今回はその体験を紹介したいと思います。
まず 1 つ目は、CEPE の近くにある Oasis Coyoacan というショッピングモール内の映画館に行きました。

メキシコでは 5 月に映画『リロ & スティッチ』が公開されたので、日本より一足早く観ることができました。普段は自宅で映画を観るとき、スペイン語音声＋字幕付きで観るようにしているのですが、今回の映画には字幕がなかったため、所々理解できない部分がありましたが、ディズニー映画は比較的内容がわかりやすいので、スペイン語の勉強にはちょうど良いと思いました。映画の料金は 1 人 80 ペソでした。映画館ではポップコーンやジュースなどが売られていて、日本の映画館とあまり変わらない印象を受けましたが、ポップコーンにはメキシコの辛いお菓子の味が付いているものなどもあり、少しメキシコらしさを感じました。

次に訪れたのは、以前 CEPE で授業をしてくださっていた先生に『千と千尋の神隠し』の上映を教えてもらったのがきっかけで行った、Cineteca Nacional de México(メキシコ国立映画館)です。メキシコの映画館で、日本語の映画を観るのはとても不思議な体験でした。平日の夕方にもかかわらず、会場にはたくさんの人が来ていて、日本の作品がメキシコでも人気があることを感じました。チケットは 1 人 50 ペソと、とても安く観ることができました。

映画館の敷地内では、屋外でも映画が上映されていて、芝生に座ってリラックスしながら映画を楽しんでいる人もいました。とても雰囲気がよく、素敵な時間を過ごすことができました。



おわりに

5 月下旬頃から雨季に入り、夜はほぼ毎日のように雨が降っています。気温差で体調を崩さないよう気をつけながら、残りの研修期間も楽しみたいと思います。